

榊（タブ）の木伐採活動報告

作成：水野八洲夫 2010年 7月30日(金)

1. 開催場所 : 四日市市平津・八幡神社（東名阪・四日市東IC北側）
2. 開催日 : 2010年 7月28日（水） 9:00～11:30 天候：曇り
3. 参加者 指導員 : 中澤（鈴鹿森林組合）
 会員 : 岡島、瀧口夫妻、裏川、水野
 会員外 : 瀧川（依頼者）

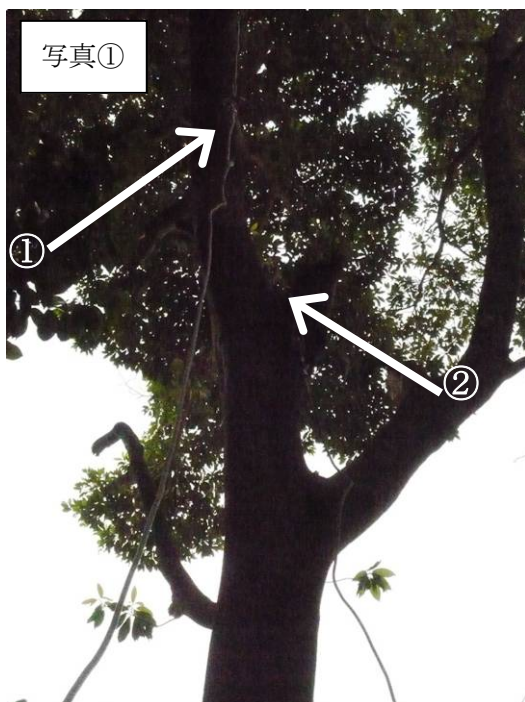
4. 内容

- 1) 東名阪・四日市東IC北側の八幡神社境内の榊（タブ）の木（直径約45cm、樹高約20m）が隣地の小屋に隣接し、小屋側に大きく傾いているため、鈴鹿森林組合・中澤氏の指導の下、チルホールを使用しての緊急伐採を行う。

樹高も高く、根元が小屋からすぐの斜面にあったため、上部で2点、根元で1点にチルホールを使用し伐採作業を行った。

伐採後は主な枝払いを行い、根元を切り株の山側に引っ張り上げて滑り止めとした。本体、枝等は、地元自治会での処分をお願いした。

- 2) 活動写真（伐採木が逆光になってしまい、見にくくなって申し訳ありません）



写真①：伐採木の上部2箇所にワイヤーを設置。

写真②：左端（矢印の杉）をはさんでそれぞれ①と②にチルホールを設置。Aの字型に。

写真③：根元にも滑り止め用のチルホールを設置。



写真④

受け口の作成。



写真⑤

追い口を入れ、中澤氏の指示でチルを操作。



写真⑥

引っ張られている最中の様子。



写真⑦

伐倒方向修整のため、写真②で①に設置したチルを②の奥に移動。矢印はワイヤーの位置。



写真⑧

伐採後の様子。改めていかに小屋に近かったか分かっていただけると思う。



写真⑨